



一般社団法人
日本善行会

〒100-0006
東京都千代田区有楽町
2-10-1 東京交通会館内
TEL (03) 3212-6996
FAX (03) 3212-6998
URL: http://www.zenkoukai.or.jp
メール: info@zenkoukai.or.jp

毎月1日発行
編集発行人 相澤 克也

善行は、社会を
照らすともしび。



新春を迎えて

一般社団法人日本善行会

会長 藤田 耕三



会員の皆様明けまして
おめでとうございます。
昨年中は一方ならぬご協
力をいただきました。本
年もどうぞよろしくお願
い申し上げます。

善行会は、世の中に善行
を広め、推し進めること
を目指して発足しまし
た。それから明るく住み
よい社会を建設するため
に、社会の隅々で善行を
重ねている人々を探し出
して顕彰する善行者の表
彰と、善行精神の普及
善行の実践活動に努めて
きたのです。

この間の日本善行会の
歩んできた道は、必ずし
も常に平坦ではありません
でした。そもそもその誕
生の時から、大陸に戦雲
の漂う時代の激流のなか
にあったのです。こうし
て戦前、戦後の混乱の中
にあり、多くの困難が山
積する中で、創立以来の
数多の先達たちのたゆま
ぬ努力によって、善行の
旗を高く掲げ、善行の灯
火を守り続けてきたので
す。我々は、この先人達
の尊い努力を忘れてはな
い。

日本善行会は昨年六月、
創立八十周年という記念
すべき節目を迎え、全国
から多数の会員が参集さ
れ、ランドヒル市ヶ谷
で盛大な記念式典並びに
祝賀会が催されました。
昭和十二年五月七日、

今年も、日本善行会の
輝かしい歴史と伝統を大
切にし、会員皆様の力強
いご支援により、更に善
行の輪を大きく広げてい
きたいと考えております。
皆様方のご健勝と、日
本善行会の益々の発展を
祈念いたしました新年の
挨拶といたします。

らず、これを引き継いで
さらに次の世代に引き渡
さなければなりません。
一方、現在の我が国や
世界の動向を見てみると、
決して安心できるような
状況にはありません。
日本の社会全体のひず
みは、無視できないほど
に広がっています。また、
世界の各国間の紛争や争
いも後を絶ちません。
このような時代にこ
そ、善行会が説く善行精
神、他に対する思いやり
が必要とされ、求められ
ているのではないでしょ
うか。このことは、我が
国の社会においてのみな
らず、国際社会において
も同じことでしょう。そ
うして、これをまず我が
国社会で実現するために
は、まず我々一人一人が、
先人達の努力を引き継い
で、日常生活の中で、地
道に善行精神を実践して
いくことが肝要である
と思います。

会員・御支援者の皆様
あけまして
おめでとう
ございます

昨年中は皆様の心温まるご支援を賜りま
して誠に有難うございました。
お陰様で本会の諸事業も初期の事業計画
に基づき順調に推移し、善行活動の普及に
大きな成果を上げる事が出来ましたことを
ご報告し心より厚く御礼申し上げます。
本年も何卒一層のご指導、ご支援を賜り
ますようお願い申し上げます。

平成三十年 元旦

一般社団法人日本善行会

- | | | |
|-------|-----------|--------------|
| 理事・監事 | 会長 藤田 耕三 | 理事 島村 弘子 |
| | 副会長 相澤 克也 | 中嶋 成夫 |
| | 常務理事 高田 修 | 西田 誠 |
| | 石井 将博 | 西村 弘 |
| | 黒澤 猛 | 飯田 勝男 |
| | 濱武 隆 | 本間 操 |
| | 松本力ネ子 | 山下 八郎 |
| | 山下純雲子 | 監事 浦野 秀樹 |
| | 石毛 利雄 | 久保 猛 |
| | 磯江 良三 | 山崎 久夫 |
| | 栗原 忍 | 参与 大岩 武 |
| | 黒崎 一嘉 | 参与 加藤 利雄 |
| | 合田 祐二 | 参与 須郷 勝雄 |
| | 早乙女勝巳 | 参与 須田 耕作 |
| | 佐藤 全弘 | (同一役職内は50音順) |

※本会は善行精神の普及と善行の実践を通して明るい住みよい社会環境づくりにつとめております。会員会費と個人・企業・地方公共団体からの賛助金により運営されております。広く会員を募集しております。

インターネット本会ホームページでも同じ写真がご覧になれます。

皇太子殿下御接見

